

平成 28 年 4 月 定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 4 月 20 日 (水) 午後 4 時 05 分～午後 5 時 30 分

2. 場 所 市役所新館 4 階 第 1 委員会室

3. 出席者

委員長 谷口 馨 委員長職務代理者 野口 和江 委員 中野 俊勝
委員 河野 さおり 教育長 樋口 利彦

4. 事務局出席者

教育総務部長 小山 藤夫／学校教育部長 須賀 俊介／生涯学習部長 濱上 剛志
総務課長 大西 謙次／学校給食課 山本 隆彦／学校管理課長 山本 千尋
産業高校学務課長 古谷 利雄／学校教育課長 松村 慎治／人権教育課長 阪本 美奈子
生涯学習課長 西尾 征樹／スポーツ振興課長 藪 嘉正／郷土文化室長 小堀 頼子
図書館長 玉井 良治／総務課参事 倉垣 裕行／生涯学習課参事 東 史子
総務課参事 高井 哲也

開会 午後 4 時 05 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に中野委員を指名した。
傍聴人 1 名。

○谷口委員長

ただいまから、4 月定例教育委員会会議を開催します。

それでは、年度当初の会議であるため、会議に先だちまして、それぞれ自己紹介をお願いします。

(教育委員及び事務局職員の自己紹介が行われた。)

報告第 24 号 平成 28 年度 教育委員会事務局の異動について

○谷口委員長

報告第 24 号 平成 28 年度 教育委員会事務局の異動につきまして、書面による報告です。ご質問ご意見等ございませんか。特にないようですので次の案件に移ります。

報告第 25 号 岸和田市教育委員会点検・評価について

○谷口委員長

報告第 25 号 岸和田市教育委員会点検・評価について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

報告第 25 号につきましては、岸和田市教育委員会点検・評価についてです。

岸和田市教育委員会点検評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、平成 20 年 4 月 1 日から「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検の世に評価等」が規定されたことにより点検・評価を行うことになりました。

点検・評価の趣旨は、教育委員会事務局が、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ること。また、点検・評価の結果に関する報告書を作成し、議会へ報告書を提出するとともに市民へ公表することにより、説明責任を果たしていくことです。

点検・評価の実施方法ですが、懸案事項など主要な施策・事業を抽出、評価シートを作成し、教育委員会自らが点検・評価を行います。また、学識経験者の意見を聴取したうえで、教育委員会において点検・評価に活用していきます。教育に関し学識経験を有する者から意見を聴取し、知見の活用を図るため岸和田市においては 4 名の評価委員を選出し、「岸和田市教育委員会評価委員会」を設置しております。委員につきましては、教育に関し学識経験を有する者 3 名、公募した市民から 1 名の 4 名で構成され、教育委員会が委嘱しています。今年度、新しく委嘱する年でありまして、任期は今年度及び来年度の二カ年で、現在、人選に努めているところです。

委員の意見を聴き、点検・評価したものを 9 月の第 3 回定例市議会において報告させていただいております。その報告後、広報紙等を活用して市民へ公表させていただいております。

平成 28 年度の点検・評価項目について、前年度の項目を見え消しで修正または削除、また新たに追加して 23 項目で点検・評価を行いたいと考えておりますので、確認していただければと思います。

○中野委員

各事業の点検・評価は、P D C A サイクルにより、今後の教育行政に係る重要な作業です。

- ・項目 No. 1 「活用する力の育成（学力向上支援事業・読書活動事業の推進）」について

学力向上については、本市では依然として課題となっています。本市においては、事務局の方で適切な改善ポイントや改善策が示されています。また、家庭の協力が得られるようにリーフレットが配布されています。しかし、残念ながら思うような結果が伴っていません。学校現場において、改善策がどのように反映されているのか、この点について、是非、点検をお願いしたいと思います。

- ・項目 No. 3 「産業教育の充実（専門教育の充実）」について

産業高校では、2 年続けて定員割れの状況になっています。大阪府立学校条例では、3 年連続定員割れで再編もあることが示されています。今回の定員割れを受けて、産業高校の方で中学生にとって魅力ある学校となるためにどのようにすれば良いのかを、しっかり点検をお願いしたいと思います。

- ・項目 No. 5 「生徒指導の充実（生徒指導サポート事業の推進）」について

警察庁の発表で、昨年、交流サイトがきっかけで性犯罪などの犯罪に遭った満 18 歳未満の子

供が過去最多であったということです。また、別の件ですが、昨年9月に15歳の中学3年生が大麻を譲り受けたということが新聞報道されました。魔の手が子供の近くまで迫っている感じがします。このようなことも含めて、生徒指導の充実の点検もお願いしたいと思います。

・項目No.7「健康教育の充実（学校給食の充実）」について

アレルギーを使用しない献立を考えて食べられる食材を多くし、出来るだけ弁当を持って来なくて良いような対応などを考えていくということで、今後も保護者の理解を深めるために取組みや検証について、しっかり発信していただきたいと思います。

・項目No.8「健康教育の充実（中学校給食実施計画の策定）」について

本市では、給食センター方式は初めてで、アレルギー対応については小学校の状況を参考にすることも含めて、二重三重の安全策の検討をお願いします。

・項目No.10「体力づくりの推進（体力向上の取組みの推進）」について

平成27年度の体力・運動能力・運動習慣等調査結果に関連しまして、先月の会議で具体的な取組についての提案をさせていただきましたので、それも含めてしっかりと検討をお願いしたいと思います。

・「青少年健全育成の推進（リーダー養成・野外・自然体験活動等の充実）」の項目削除について

今まで予算も順調に増えてきて、この事業が定着してきたと思います。活動そのものは継続されると思いますが、リーダーを育てる活動ですので、活動が低下することがないようにお願いしたいと思います。

・項目No.15「連携と参画による地域づくり（放課後子ども教室、学校支援地域本部の開設）」について

教育実行会議の第六次の提言で、このことが示されていきました。昨年の会議で点検・評価項目の削除について、再検討してもらいたいと発言しました。今年、この項目を復活していただいて非常に良かったと思います。今後も学校を核とした教育活動についての取組みの充実を図っていただきたいと思います。

○谷口委員長

点検・評価項目につきましては、このままでよろしいですか。

○中野委員

はい。

○野口委員長職務代理者

項目No.15に「学校支援地域本部の開設」とありますが、開設に向けた取組みということでよろしいでしょうか。今年度中に開設するのでしょうか。

○西尾生涯学習課長

“取組み”という解釈でお願いします。

○谷口委員長

点検・評価項目はこのままで、教育委員会評価委員会委員へ教育委員会からこういう意見がありましたことを、重点的に点検をお願いします、とお伝えいただければと思います。

○大西総務課長

はい。点検・評価の報告につきましては、8月に出来上がりましたら提案させていただきますので、よろしくをお願いします。

報告第 26 号 岸和田市教育委員会後援名義使用許可状況について（平成 27 年度申請受付分）

○谷口委員長

報告第 26 号 岸和田市教育委員会後援名義使用許可状況については、書面での報告です。ご意見等ございませんか。

○中野委員

申請者の住所や所在地を見ますと、本市が中心となっています。そういう観点から内容を見ますと、1年を通じて多種多様な取組みをしてもらっていることから、非常に心強く思っております。

報告第 27 号 岸和田市教育委員会文書管理規程の一部改正について

○谷口委員長

報告第 27 号 岸和田市教育委員会文書管理規程の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

報告第 27 号につきましては、岸和田市教育委員会文書管理規程の一部改正についてです。

学校給食課を新設するというので、規則・規程につきましては3月の会議で改正をお願いすることが原則ですが、この規程についての改正が漏れていて、教育長決裁で専決させていただきましたので、ご報告させていただきます。

内容につきましては、教育委員会の課が文書を発信する場合に記号及び番号を取りますが、それぞれの課がそれぞれの記号を持っておりまして、今回、学校給食課の新設に伴い記号「岸教総給」の設定をするものです。3月に審議いただくものでしたが、失念しておりました。申し訳ございません。

○谷口委員長

学校給食課の記号を新たに設定するという事です。

報告第 28 号 産業高等学校進路状況について（平成 27 年度卒業生）

○谷口委員長

報告第 28 号 産業高等学校進路状況（平成 27 年度卒業生）について、事務局から説明をお願いします。

○古谷産業高校学務課長

報告第 28 号につきましては、産業高等学校進路状況（平成 27 年度卒業生）についてです。

全日制の進路状況につきましては、卒業生 273 名のうち、就職者が 100 名（36.6%）、進学者

が 166 名 (60.8%)、その他が 7 名 (2.6%) の状況でございます。

続きまして、定時制の進路状況につきましては、卒業生 38 名のうち、就職者が 12 名 (31.6%)、進学者 16 名 (42.1%)、その他が 10 名 (26.3%) でございます。

職種別進路状況では、事務職 27 名 (28.7%)、営業・販売員 15 名 (16.0%)、製造業 40 名 (42.6%)、サービス職 12 名 (12.8%) となっています。

傾向から、若干、進学及び就職が増えてきています。科ごとでは、デザインシステム科は年度により波があります。商業科と情報科につきましては、進学が増えてきていると思います。定時制につきましては、その他の率が高かったのですが、平成 27 年度では就職や進学が上向きになっています。

○野口委員長職務代理者

その他の進路の人たちのことが気になります。就職も進学もしていない人へ卒業後も学校のフォローの手立てをしてあげられたらと思います。周りの人も気になっているようですので、よろしくをお願いします。

○谷口委員長

進学の方が増えてきているのかと思います。就職にしても進学にしても、自分が高校で習った勉強が活かせる方面に進んでいるのかどうかも気になります。そのことについてもフォローができれば、次に生徒を募集する時のアピールにもなるかと思しますので、大変でしょうがフォローしていただければ有り難いです。

○古谷産業高校学務課長

持続率については、毎年取っているようです。平成 27 年度分はまだ確認できていませんが、そのことも踏まえて学校へも伝えさせていただきます。

○中野委員

就職状況について、厚生労働省から高校生の就職内定率が平成 28 年 1 月 1 日現在で 93.6%、前年に比べて 0.8 ポイント上昇したということで、平成 5 年以来の 23 年ぶりの水準に達したという発表がありました。全日制では、この影響がなかったのかという感じがしますが、定時制では反映しているような結果になった、というように思いました。

進学者について、全日制で国公立大学に 3 名が合格しました。指定校枠を活用したのか、あるいは一般入試で合格したのかですが、指定校枠を活用して進学することは非常に効率的な進学方法です。また、実力で一般入試を受験することも大きな意味があると思います。できれば、学習指導を徹底してもらって、実力でも合格できるような指導をお願いしたいと思います。

両者合わせまして、徐々に上昇しているように思いますが、このデータを見て、中学生または保護者が魅力を感じて産業高校へ行こうというようなデータに至っていないと思います。もっと、魅力のあるような取組みや実績を高めていただきたいと思います。

去年も触れましたが、273 名の卒業ということは 7 名の中途退学者が出たということです。比率で言えば 2.5%、昨年 8 名でしたので 2.85% でした。大阪府立高等学校の中途退学の率は、平成 27 年度はまだ出ていませんが、平成 26 年度が 1.5%、平成 25 年度が 1.7% と比較すると、産

業高校での中途退学の率が高いと思います。特にデザインシステム科で3名の中途退学者がいます。割合で言いますと7.5%になり、すごく高い割合です。このことについて、学校で内容は調査していると思いますが、主な理由を事務局でも把握していますか。後日で結構ですので、教育委員会で報告していただきたいと思います。なぜならば、主な理由が分かれば、それに対する具体的な対応もできると思います。学校でどのように捉えて、どのように対処しているのか、途中退学防止の具体的な取組みについて、もっと強く進めてもらう必要があるのではないかと思います。

報告第 29 号 市民公開講座「アーチェリー講座」について

○谷口委員長

報告第 29 号 市民公開講座「アーチェリー講座」について、事務局から説明をお願いします。

○古谷産業高校学務課長

報告第 29 号につきましては、市民公開講座「アーチェリー講座」についてです。

対象は、岸和田市在住の小学校6年生から中学校3年生までで、日時は5月から11月の土曜日、午前9時から12時の12回です。定員は、初級10名、中級5名としていますが固定しておりません。費用は、教材費他で6千円で、講師は日本体育協会公認指導員、コーチ資格取得指導員を予定しております。広報きしわだ4月号で周知し、申込みは往復はがきで4月20日（水）必着としております。現在、定員通りの15名の申込みがあります。中学生が8名、小学生が7名で、初級が13名で、中級が2名でございます。

○谷口委員長

ご質問ご意見等ございませんか。特にないようですので次の案件に移ります。

報告第 30 号 産業高等学校への寄附について

○谷口委員長

報告第 30 号 産業高等学校への寄附について、事務局から説明をお願いします。

○古谷産業高校学務課長

報告第 30 号につきましては、産業高等学校への寄附についてです。

単焦点プロジェクタ・スクリーン（換算額 約 50 万円）を学校教育のため、平成 28 年 3 月 30 日にご寄附いただきました。

○中野委員

単焦点プロジェクタは、デイトライトでも見えるので非常に便利です。またスクリーンは高価なもので、非常に良いものをいただきました。しっかり活用していただきたいと思います。

報告第 31 号 平成 28 年度 支援学級、通級指導教室設置校について

○谷口委員長

報告第 31 号 平成 28 年度 支援学級、通級指導教室設置校について、事務局から説明をお願

いします。

○阪本人権教育課長

報告第 31 号につきましては、平成 28 年度支援学級、通級指導教室設置校についてです。

支援学級の設置につきましては、小学校では 24 校全校において設置し、79 学級 394 名の在籍となっております。中学校では 11 校において設置し、37 学級 170 名となっております。合計して前年度より 8 学級増の 116 学級、人数は 49 名増の 564 名になります。

また、通級指導教室につきましては、平成 27 年度から通級を継続する予定の人数で、小学校で 60 名、中学校で 5 名が継続予定です。これは、4 月 1 日現在ですので、その後、増えていく状況になります。

○野口委員長職務代理人

支援学級在籍の児童・生徒数が、どちらも増えていますが、卒業した児童・生徒よりも 1 年生の在籍する児童・生徒が多いのか、それとも途中入級する児童・生徒が多いのでしょうか。

○阪本人権教育課長

例年、適正就学指導にあがる子供たちの数は、170 名から 190 名となっております。小学校入学の子供もいますが、途中入級の子供もいます。小学 1 年生では気がつかなかったが、小学 3 年生や 4 年生になって少ししんどくなることもありますので、どちらが多いのか、今データを持っていませんが、どちらも増えているのは事実です。

○中野委員

肢体不自由児の小学校 1 校は、東光小学校ですか。

○阪本人権教育課長

はい。

○中野委員

病弱・身体虚弱の小学校 2 校は、東光小学校の他にどの小学校ですか。

○阪本人権教育課長

院内があります八木南小学校です。4 月 1 日現在、学級があるということで 2 校としています。

○中野委員

病弱・身体虚弱の中学校 3 校で、新たに 1 学級設置していますが、どの中学校ですか。

○阪本人権教育課長

岸城中学校です。

○野口委員長職務代理人

難聴学級が平成 27 年度に光明小学校で新設されて 1 年が経ちましたが、教育内容の充実等は十分に図られているのでしょうか。

○阪本人権教育課長

手話を大宮小学校のように中々できませんが、環境を整えていただいたり、教育内容についても先生が大宮小学校へ行って研修を一緒にしていただいたりして、それをもち帰って子供たちへ活かすようにしています。子供も元気に楽しく学校へ行っていると聞いています。

報告第 32 号 平成 28 年度 公民館・青少年会館等館長について

○谷口委員長

報告第 32 号 平成 28 年度 公民館・青少年会館等館長については、書面での報告です。ご意見等ございませんか。特にないようですので次の案件に移ります。

報告第 33 号 仮称「スポーツ推進計画」の策定について

○谷口委員長

報告第 33 号 仮称「スポーツ推進計画」の策定について、事務局から説明をお願いします。

○藪スポーツ推進課長

報告第 33 号につきましては、仮称「スポーツ推進計画」についてです。

国が策定しました「スポーツ基本計画」、大阪府が策定しました「大阪府スポーツ推進計画」の方針を踏まえまして、岸和田市にふさわしいスポーツの基本的な方向を定め、実情に即しました推進計画の策定に向けて取組めます。

平成 28 年度の取組みにつきましては、庁内関係課及び学識経験者で「岸和田市スポーツ推進計画策定庁内連絡会議」を立ち上げる予定です。この連絡会議の中で、スポーツ推進計画に関する事業の現状、課題及び今後の取組みについて協議し、施策方針を検討したいと考えています。

施策方針を検討するために市民意識調査を実施し、市民ニーズの把握や岸和田市スポーツ推進審議会での意見聴取を行っていきたいと考えております。

平成 29 年度の取組みにつきましては、市民意識調査の結果の解析、施策方針内容を取りまとめ、スポーツ推進計画素案を完成させ、庁内関係部局と調整のうえ、パブリックコメントを実施し計画を策定したいと考えております。

○谷口委員長

スポーツ推進計画策定委員会の中に健康推進課が入っていますが、健康推進課ではウエルウェーディングきしわだ推進協議会の中で、“健康ポイント”を立ち上げようとしています。ポイントを付与して受診率を上げようとする取組みになりますが、スポーツ推進計画策定委員会の中に入っていますので、連携を取りながら進めていただければと思います。

○中野委員

スポーツ立国の実現のため、スポーツ基本法の趣旨に沿って取組みしていただいて、今後、本市における競技水準の一層の向上、学校体育・地域スポーツの充実、スポーツに係る国際交流貢献及び推進等を図っていただくようお願いしたいと思います。

報告第 34 号 岸和田城天守閣の展示について

○谷口委員長

報告第 34 号 岸和田城天守閣の展示について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

報告第 34 号につきましては、岸和田城天守閣の展示についてです。

企画展として「収蔵史料展 一古書蹟・軸一」を開催したいと思っています。現在、岸和田高校所蔵の市指定文化財でもあります「落合文庫」を紹介させていただいておりますが、5月15日(日)までの会期となっております。その後、今回の展示をしたいと思っています。会場は、岸和田城天守閣2階展示室で、郷土文化室が保管する資料の中から、貴重な郷土資料であります古文書・古書蹟類と軸を展示し、市民の皆様に見ていただくことで本市の歴史を見ていただく取組みにしていきたいと考えております。主な展示史料は、平安後期の大般若経、恵比寿・大黒図ほか約30点を予定しております。周知については、時期がずれていますが会期の期間内で広報きしわだ6月号とホームページでお知らせしたいと考えております。

○中野委員

現在展示しています「落合文庫」を拝見し、勉強させていただきました。

次回の展示の大般若経というのは膨大な量があり、600巻ある中の一部ですか。

○小堀郷土文化室長

はい。

○中野委員

恵比寿・大黒図は、縁起ものでいろいろな方が描いています。

○谷口委員長

予定していました報告は以上です。他に何かありませんか。

それでは、議案の審議に移ります。

議案第 19 号 平成 28 年度 教科等指導員・研究員の委嘱について

○谷口委員長

議案第 19 号 平成 28 年度 教科等指導員・研究員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○松村学校教育課長

議案第 19 号につきましては、平成 28 年度 教科等指導員・研究員の委嘱についてです。

豊かな教育活動の創造を図るとともに本市の教育の振興を図るため、平成 28 年度教科等指導員・研究員として教科等の指導及び実践的研究を委嘱するものです。

昨年に比べまして人数が増えています。教科等指導員につきましては“美術”、教科等研究員につきましては“国語”、“体育”、“情報教育1名”及び“特別支援教育1名”増えています。指導主事の教科等の関係もありますが、本年度、この方々に委嘱して進めてまいりたいと考えています。

○谷口委員長

美術、国語、体育は、昨年ありませんでしたが今年増えました。その具体的な理由を教えてくださいませんか。

○松村学校教育課長

今、申し上げました教科につきましては、現場の教員の指導員、研究員の力を借りて、更に充実を図っていきたいということです。また、指導主事として専門的に続けている教科もありますが、更に協力を求めて進めたいと考えています。

○中野委員

増員してもらって充実した部分は、大変心強いと思います。ただし、教科等指導員の国語が生まれていません。昨年度、本市の全国学力・学習状況調査結果の分析で、国語について小・中学校ともに「書くことに課題が見られる。」と分析しています。また、活用力を図るB問題で小・中学校ともに「記述することに課題が見られる。」ということでした。特に「読解力」、「表現力」、「コミュニケーション能力」は全教科の基礎になりますので、是非、来年度に向けて国語の充実を図ってもらいたい。指導主事は非常に忙しいので、そこを補うという意味でも教科等指導員の増員をお願いしたいと思います。

教科等指導員の情報教育についても、人材育成が追い付いていないのであれば早急に図っていただき、来年度、増員していただきたいと願います。

○松村学校教育課長

ご指摘につきましては、来年度に向けて検討を進めてまいります。

今年度、指導主事で国語の担当が2名います。教科等指導員を1名加えたことにより、ご指摘いただいた課題を解決するための研究を進めて、効果的に現場に指導していけるよう考えております。情報教育につきましても、今年度のシステムの更新と合わせまして、現場での情報教育をどのように進めていくのか、担当指導主事と研究員と共に進めてまいりたいと思っております。

○中野委員

現場の方では初任者や経験の浅い先生方が増えて指導主事の活動が多くなっていると思いますので、考慮いただければと思います。

○野口委員長職務代理者

指導員や研究員の先生方は、校内でも指導的な立場にいる方々だと思います。校内での教育の充実にかなりご尽力されている方々で、その上で市全体にも力をお借りするので、過重な負担にならないようにそれぞれの学校長のご理解をいただいて、市の教育の充実に貢献していただけますようお願いしたいと思います。

○中野委員

強く思うのは、情報関連についてはベテランの先生がいる学校では進みますが、そうでない学校では低調になり学校間での温度差が出ますので、市の学校全体を見渡す視野の広い指導が必要になってくると思います。

○谷口委員長

委員の意見を留意しながらお願いします。

他にご意見等ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 20 号 平成 28 年度 岸和田市適正就学指導委員の委嘱について

○谷口委員長

議案第 20 号 平成 28 年度 岸和田市適正就学指導委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○阪本人権教育課長

議案第 20 号につきましては、平成 28 年度 岸和田市適正就学指導委員の委嘱についてです。岸和田市立小・中学校に在籍する児童・生徒及び小学校入学予定者のうち、特に個々の特性に応じた教育を必要とする児童等の適正な就学指導及び支援を行うために「岸和田市適正就学指導等に関する委員会規則」に基づき委嘱するものです。

○野口委員長職務代理者

専門医の専門科を教えてください。

○阪本人権教育課長

手元に資料がありませんので、後日、報告します。

○中野委員

個々の子供の就学について、適正な指導の判断をする非常に重要な仕事をしていただく委員の方々にはお世話になっています。

会議では、個々の子供の状況をあゆみファイル等を活用していると思いますが、個々の子供の状況をどのように説明されるのか、保護者や子供に一番近い人が説明するのか、委員が一堂に会して会議を進められるのか、またはブロックごとにされるのか、具体的なこの会議の進め方を教えてください。

○阪本人権教育課長

子供については、保護者と学校の間で支援学級へ在籍、もしくは支援が必要な部分を保護者の了解のもと、課へ名簿を上げていただき、その名簿を元に 24 小学校、11 中学校 1 幼稚園の先生方が 2 人ペアになって子供の様子を見に行きます。保護者からもどのように子供が過ごしてきたのか、保護者の願いを聞き取りさせていただきます。また、発達相談員による発達検査を行い、検査結果をもらいます。それらの情報を元にして会議を行います。適正就学指導委員約 70 名出席の会議では 4～5 時間で終わらないので、2つのグループに分けて調査員の半数の出席で会議を行っています。専門医、心理学者、支援学校、小学校長、研究室メンバー、保健センター、いながわ療育園、発達相談員の委員につきましては、2つに分けた両方の会議に出席します。会議では、調査員からの報告やいろいろな情報を持ったうえで、子供にどのような支援が良いのかを話し、それを元に学校から保護者に話しをしてもらうこととなります。

○谷口委員長

専門医に食育のこともありますので歯科医も入ったらと思いましたが、学校保健会に人選をお願いした結果ということですね。

○阪本人権教育課長

医師会に推薦をしていただいています。

○谷口委員長

他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 21 号 平成 28・29 年度のスポーツ推進委員の委嘱について

○谷口委員長

議案第 21 号 平成 28・29 年度のスポーツ推進委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○藪スポーツ振興課長

議案第 21 号につきましては、平成 28・29 年度のスポーツ推進委員の委嘱についてです。

スポーツ基本法第 32 条の規定に基づきまして、平成 28・29 年度二カ年の岸和田市スポーツ推進委員の委嘱をしたいと考えております。本市においては、地域での生涯スポーツ推進のために各小学校区から委員 2 名の推薦をいただいております。また、委員相互の緊密な連絡協調をもって活動の活性化を図るために岸和田市スポーツ推進委員協議会を発足しております。委員は 60 名以内で、主な事業は「市民スポーツカーニバル」、「葛城山ファミリー登山」を検討しております。本日、承認いただいた後、委嘱式を 4 月 26 日（火）19 時から開催したいと考えております。

○中野委員

委員の活動は、ブロック単位で行われるのですか。学校区によって、1～4 名の委員と開きがあります。

○藪スポーツ振興課長

山直北校区では 1 名欠員になっておりますので、推薦者をお願いしています。スポーツカーニバル等では校区単位ということもありますので、ブロックを考えながらしていきます。

○中野委員

そろっている方が良いですね。

○藪スポーツ振興課長

そうです。各校区で推薦者を出してほしい、と依頼をしている状況です。

○野口委員長職務代理者

先ほど報告のありました「スポーツ推進計画」のスポーツ推進審議会やスポーツ推進計画策定委員会とは、全く異なる組織ということですか。

○藪スポーツ振興課長

そうです。

推進委員につきましては、ブロック別の体験会を行っていて、例えば、グランドゴルフであれば 1 ブロック、2 ブロックで実施したり、スリータッチボールでは 2～4 ブロックで実施したり、いろいろしている報告を受けています。また、スポーツカーニバルでは、全体の事業ということでさせていただいて、いろいろな事業の協力をいただいています。

○樋口教育長

スポーツ推進委員協議会のメンバーとして、約 60 名の方を委嘱しています。各校区の推進委員ですが、各校区 2 名の推薦は難しいので、ブロックで何か競技の提供をして地域の人を集めて実施します。全体とする時には協力をお願いしています。

○谷口委員長

他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 22 号 岸和田市有形文化財の指定について

○谷口委員長

議案第 22 号 岸和田市有形文化財の指定について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

議案第 22 号につきましては、岸和田市有形文化財の指定についてです。

平成 27 年 8 月の定例教育委員会議案第 47 号で審議いただきました案件について、9 月 14 日に諮問し、平成 28 年 3 月 8 日の文化財保護審議会で答申を受けました。名称は、「絹本著色 華嚴海会善知識曼荼羅」という絵画です。指定の理由は、3 点にまとめられた特色があります。現存しています「絹本著色 華嚴海会善知識曼荼羅」は、東大寺に 2 本、滋賀県園城寺にあります。それらと比べると異なる点があり、数少ない最古級のものであり、他に類を見ない異なものという評価を受け、本市の郷土・歴史を考える上で貴重な資料として市の有形文化財に指定して保護を図っていくものです。所有は宗教法人久米田寺ですが、平素は奈良国立博物館へ寄託しています。指定年月日につきましては、本日、承認いただければ 5 月 1 日を考えています。

○中野委員

久米田池が世界かんがい施設遺産に登録され、タイミングが非常に良いと思っています。久米田寺本ですが、中央の磨滅が著しいということですが、東大寺の重要文化財本に匹敵するくらいの内容だと思っています。将来、重要文化財の指定もあるような気がします。

○小堀郷土文化室長

現物を実際に見させていただきましたが痛みが激しい状態で、このタイミングで上手く保護しておかないとどんどん痛んでいく事情がありまして、国の文化庁にも働きかけていくように、今後、考えていきたいと思えます。なおかつ、久米田池の世界かんがい施設遺産登録のタイミングもあり、先ほどの報告で軸や古書蹟を岸和田城に展示しますが、今年度には久米田池をテーマにした展示も考えています。

○谷口委員長

貴重な文化遺産ですので、よろしくをお願いします。

他にご意見等ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 23 号 教職員人事について

○谷口委員長

議案第 23 号は人事案件でございますので、非公開とさせていただきますがよろしいでしょうか。

○谷口委員長

非公開への賛同がございましたので、そのようにさせていただきます。関係者以外は退席願います。

(教職員人事について審議され、承認された。)

○谷口委員長

これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 5 時 30 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員